

## 2024（令和6）年5月1日（木） 柏崎日報かわらばん



AKKプラス  
加藤 賛汰  
KATOU SANTA

1999年 柏崎市出身  
2022年 株AKKプラスへ入社

AKKプラスは、市内の企業経営者が集まり発足した「明るい柏崎計画」という任意団体から発案されたアイディアを事業化し、地域を盛りあげることを目指す会社。柏崎エリアにある飲食店、食料品、生活サービスなどのお店情報を一覧できるお店情報アプリ「かしチケ」の管理・運営の他、「はなまるクーポン」、「いい湯めぐり」、「柏崎GOTOみ~そ」など、スタンプラリーイベントの委託運営を行う。また、柏崎青年工業クラブ会員の会社、それが制作したコマをガチャガチャで販売する等、さまざまな企画や事業に携わっている。

AKKプラスの社員として働く加藤賛汰さんは、新潟産業大学の学生時代から地元のイベント活動に参加。そのままAKKプラスへ入社し3年目の春を迎えた。高校時代はロボットの制作に没頭したといい、大学時代は学友会で活躍。写真部では耳の聞こえない方向けの写真講座にサポートとして参加したり、市展に作品を出品したりした。軽音部ではドラムを担当していたが、中学時代にYouTubeで知ったペルー発祥の打楽器「カホン」を独学で学び、大学3年時からは「アコース

ティックサウンドcrew」のメンバーとして活動。バーカッショーンを担当し音市場や県内外のさまざまなライブに参加している。

AKKプラスの経営理念は「まちの困りごとを、ビジネスを通じて解決していく」。利益優先ではなく柏崎のためになるような事業。例えば、新型ウイルスの流行時には「柏崎エール飯」で市内の飲食店のテイクアウト情報を発信。「エール飯弁当」ではテイクアウト弁当を市役所や企業に納品する事業を展開した。当時、大学生だった加藤さんも受注管理やスケジュール調整などを行った。加藤さんは入社後に運用が始まった「かしチケ」を担当する他、昨年は「柏崎刈羽エール旅」でスタンプラリーとフォトコンテストを開催。2か月間でSNSにアップされた写真は1300枚を超える。市民に地元を体験してもらいたい地元の人たちから地域の魅力を発信してもらおうという企画に多くの反響が集まった。「やりたいと思った企画をそのまま形にできる。目前で喜んでもらえることがうれしい」という。

加藤さんは他にもいろいろな活動に貢献する。例えば、行政と民間が連携して移住・定住に取り組むため設置された「柏崎移住・定住推進パートナーチーム」では移住を検討している方へ向けたマッチングサイト「くじらと。」を作成。施策の提案やコンシェルジュとして相談に応じるなど、柏崎の未来を模索している。

また、昨年から友人とタコスのテント販売を始め、「タコス・パラダイス」の名前

で県内各地のイベントに出店。手段を問わずに柏崎を少しでも面白くできるような活動を続けてきたいと話している。

お問い合わせ  
株式会社 AKKプラス  
柏崎市田原3-3-38  
(株式会社テック長沢 田原工場内)  
TEL: 070-8570-8572



## 柏崎抄

▲毎年恒例の  
市内2大学の新  
入生合同歓迎  
会。2005年  
から始まり、今  
年で20回目を迎  
えた(新型コロ  
ナウイルスの影響  
で1回中止)。先月24  
日、約250人が参加し、  
会場の産文会館大ホールは  
若いエネルギーで満ちあふ  
れた▲テーブル席はこじ  
り、新潟工業大、新潟工  
科大と半々。同じ大学であ  
つても初めて話す人もいた  
とか。交流アトラクション  
「柏崎人を探せ」では、新  
入生が「アーバル」にて、封  
面に入ったビントから該當  
する人物を探し出す。野球  
のユニホームを着込んだ  
り、テニスラケットを持つ  
たり、バイクのヘルメット  
をかぶる人も、ごった返し  
の中、ヒントから指定され  
た「柏崎人」を探し出すの  
は至難の技。そうこうする  
うちに新入生の交流も深ま  
ったようだ▲歓迎会の中で  
紹介された「#(ハッシュ  
タグ) ようこそ柏崎へ」キ  
ャンペーン。新入生のほか、  
柏崎への移入者、観光や仕  
事で訪れた人に、観光スポ  
ット、飲食店メニューなど  
の「おすすめ情報」や「歓  
迎コメント」を発信してい  
るSNS(フェイスブック、  
インスタグラム、X)。今  
年で4年目▲最近のSNS  
をのぞいてみると、飲食店  
のおすすめメニューのほか  
にも、谷根のハナモモ、坂  
塚駅のつるしひな、鶴の噴  
水(鶴波横断地下道)、善  
根の不動尊、ぎみん柏崎ま  
つり海の大花火大会などが盛  
りださなんだ▲今はゴール  
デンウイークの真っ最中。  
連休後は身体の不調を感じ  
る五月病になりやすい。正  
式な病気ではないが、スト  
レスが原因と言われる。知  
らない土地では心細い。新  
生活のなおさの不安もある  
だろう。「#よつこそ柏  
崎へ」を見て、歓迎・応援  
している人がいることを励  
みに、ぜひ柏崎を散策して  
もらいたい。(續)

2024(令和6)年5月1日(木) 柏崎日報

引きで、新潟工業大、新潟工  
科大と半々。同じ大学であ  
つても初めて話す人もいた  
とか。交流アトラクション  
「柏崎人を探せ」では、新  
入生が「アーバル」にて、封  
面に入ったビントから該當  
する人物を探し出す。野球  
のユニホームを着込んだ  
り、テニスラケットを持つ  
たり、バイクのヘルメット  
をかぶる人も、ごった返し  
の中、ヒントから指定され  
た「柏崎人」を探し出すの  
は至難の技。そうこうする  
うちに新入生の交流も深ま  
ったようだ▲歓迎会の中で  
紹介された「#(ハッシュ  
タグ) ようこそ柏崎へ」キ  
ャンペーン。新入生のほか、  
柏崎への移入者、観光や仕  
事で訪れた人に、観光スポ  
ット、飲食店メニューなど  
の「おすすめ情報」や「歓  
迎コメント」を発信してい  
るSNS(フェイスブック、  
インスタグラム、X)。今  
年で4年目▲最近のSNS  
をのぞいてみると、飲食店  
のおすすめメニューのほか  
にも、谷根のハナモモ、坂  
塚駅のつるしひな、鶴の噴  
水(鶴波横断地下道)、善  
根の不動尊、ぎみん柏崎ま  
つり海の大花火大会などが盛  
りださなんだ▲今はゴール  
デンウイークの真っ最中。  
連休後は身体の不調を感じ  
る五月病になりやすい。正  
式な病気ではないが、スト  
レスが原因と言われる。知  
らない土地では心細い。新  
生活のなおさの不安もある  
だろう。「#よつこそ柏  
崎へ」を見て、歓迎・応援  
している人がいることを励  
みに、ぜひ柏崎を散策して  
もらいたい。(續)

2024(令和6)年5月7日(火) 柏崎日報  
2023年度高校・中等教育学校卒業生の進路状況

卒業生数	大 学			短 大			専門 学校等	進学計	就 職			
	国公立	私 立	計	国公立	私 立	計			公務員	民間	計	
柏 高	183	65	89	154	0	7	7	11	172	3	1	4
常 盤	72	5	24	29	0	2	2	31	62	3	6	9
柏 總	106	0	11	11	0	3	3	72	86	1	17	18
柏 工	106	3	14	17	0	0	0	23	40	1	62	63
翔 洋	49	19	22	41	0	1	1	4	46	0	0	0
産 附	124	5	63	68	0	2	2	27	97	4	21	25
合 計	640	97	223	320	0	15	15	168	503	12	107	119

今、この多大な大学進学者の数は、約3200人で最も多くなった。前年度は752人中233人の47.4%が進学者率は2・5倍上がる進学者率は2・5倍上がった。  
このうち国公立は略半数が減少した中で、前年と同様に人分進学した。学年別では相違55人(前年度70人)、柏原類洋が19人(同16人)、常盤が5人(同16人)、鹿島府屋が6人(同2人)、柏上が3人(同1人)。短大進学は見させて15人(2・3%)。専門学校生徒は1,568人(26.2%)。進学は合わせて57.6%。学年別では前年度より18人減らすと86人減少したが、進学者率は3.5%と降低了。就職は119人(18.6%)で前年度より31人少ない。全員の就職率は0・4%となかった。

# 大学進学が50%

今春高校卒業生  
北海道、新潟など 国公立は97人 同前年と  
数

1112

行 2、址 18 公

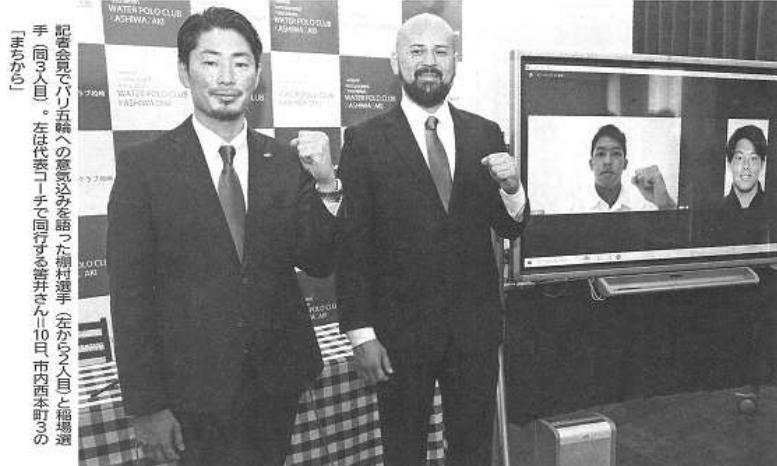
100

## 柏崎抄

▲今年のスポーツ界の話題は、  
パリ五輪を中心  
になるだろう。  
東京五輪から3年。  
通常よりインターバルが1年。

2024（令和6）年5月10日（金） 柏崎日報

時間短いため、感覚的にはあつという間にオリンピックイヤーが訪れた感じだ。各種競技で出場権を懸けた選手会のピートを迎えていた▲柏崎出身でヤーリングの富澤慎選手（39）は2008年の北京五輪から大会連続での出場。東京大会まで出場してきたRSX級（ウイングサーフィン）が廃止され、パリ大会から新たに採用される「i-QFOイル級」で試行錯誤を続けてきた。船底に水中翼を備えて艇が水面から浮き上がるi-QFOイル級は微風でもスピードに乗り、速さはRSX級をはるかに上回るという。▲転向後は国際大会で下位に沈むなど成績も振るわなかつたという。家族も「今回は厳しい」と思っていたというが、五輪出場を懸けた最終選考会では結果的に優勝。求められる技術が異なる中、船体の操作を安定させるために体重を増やすなどまさに地道な努力が結実した▲水球男子代表にはアルボンウォーターポロクラブ柏崎から棚村克行（34）、新田一景（26）、稻場悠介（24）の3選手が選ばれた。クラブから五輪輩出は3大会連続。五輪に出場してくる国は欧州を中心に強豪をもつた。東京五輪では1勝にとどまつたが、どこまで食い下がれるか注目したい。▲一つの地方自治体からこれだけのオリンピアンが輩出されることが全国を見渡しても突出しているのではないか。一市民として誇らしい気持ちである。開幕まであと2カ月半ほど。柏崎勢のどんな活躍を見られるか、今から期待を膨らませている。（眞）



記者会見でパリ五輪への意気込みを語った柏崎選手(左から二人目)と福島選手(右)。左は代表コーチで同行する吉井さん(10日、市内西本町3の「まちから」)

## パリ五輪「多くの勝利を」 水球男子 ブルボン 選手らが決意

パリ五輪の男子水球で日本代表で出場するブルボンウォーターポロクラブの柏崎選手(左)、吉井選手(右)、クライが市内で開いた記者会見に出席した。

選手は意願の選りすぐり突破上位進出を見据え、「より多くの勝利を狙う」と意気込みを語った。

ブルボンは今朝、福島選手が代

入りまた代表のコーチに

はアルボンなどの吉井翔太

さん(37)が同様の会見に

は体調不良で参加できなか

った新田選手を除く3人が

出席。渡辺選手(右)は「

オリンピックで参加だ。

GK新田選手はチーム

最後年のペラランとして挑

む。吉井は日本代表の中に

海外出張選手チームで活

躍する増えており、

「選手レベルは確実に上

がっている」と手応えを見

た。3大連続の五輪に

一本の大きなシート。

新田選手はクラブを通じ

て「コストを削減せよ。初

五輪開催に「地元の皆さ

にやってきた結果だと思

う」とした上で、昨年

日本水泳連盟として期待

される福島選手は「大会運

営部長」と決意を述べた。

柏崎選手は「東京

は競技運営してチームに貢

献してほんとうに勝つ

と指揮官語った。

日本水泳連盟として期待

される福島選手は「大会運

営部長」と決意を述べた。

柏崎選手は「東京

は競技運営してチームに貢

献してほんとうに勝つ



音楽活動30周年を記念したライブを行う松井まさみさん（前万石から2人目）＝市内西本町1

## 青春の地柏崎で 節目祝いライブ

音楽活動30周年の

産大OB松井さん

新潟県大OBのシンガー  
・ソングライターの松井まさみ

「柏崎は青春のもので

あり、箇所はうしてライブを開くことがでて感慨深い」と松井さん。 「柏崎の方からの支援が大きめになっている。いろんなことに挑戦し、また柏崎に戻つてきたい」と語った。

吉田あゆ美さん（39）は「フォークソングという昭和の古き良き雰囲気が心に染みた」と

会場を沸かせた。

長岡市から訪れた吉田あゆ美さん（39）は「フォークソングという昭和の古き良き雰囲気が心に染みた」と話した。

「柏崎は青春のものであり、箇所はうしてライブを開くことがでて感慨深い」と松井さん。 「柏崎の方からの支援が大きめになっている。いろんなことに挑戦し、また柏崎に戻つてきたい」と語った。

さみやまさん（48）が音楽活動30周年を記念したワンマンライブを市内西本町1の「うだげ堂」で開いた。青春時代を過した心のふるさと」などいう柏崎でファンを魅了した。

松井さんは毎日仕事中にギターを始めるなど音楽活動を開始。卒業後に上京し、アコースティックユニット、「三支路」を結成した。2006年にメジャーデビューし、11年からつロで活動している。

ライブは先月2日に行われ、約30人の観客を前にスジャーテピューカーもつと「つと」のほか、自身が影響を受けたフォークバンド「かぐや姫」のカバー曲などを披露した。松井さんと親交があり、主に市内を拠点に活動する「アコースティックサウンド・蜗（ひぐらし）」も演奏で出演し、会場を沸かせた。

吉田あゆ美さん（39）は「フォークソングという昭和の古き良き雰囲気が心に染みた」と話した。

2024(令和6)年5月13日(月) 柏崎日報

7月からスタートする柏崎リーダー塾第6期生募集のPRチラシ

7月から申し込みは今月31日まで

産大、新潟工科大、市の産学官4団体で構成する柏崎リーダー塾運営協議会（会長）石坂泰男・イシザカタケオ代表取締役）が、柏崎リーダー塾の第6期生を募集している。スタートは7月から。申し込みは今月31日まで。

便社会人が会の運営を  
持たながら、自分のまち、  
地区的問題を考え、行動し、  
解決策を立てたり、ダム建設に  
反対したりなど活動をすこ  
れまでの修了生は第1期  
(2013年~14年度)が20  
人、第2期(15~16年度)  
が17人、第3期(17~18年)  
にかけては、第4期(18~19年)  
までが14人、第5期(19~20年)  
が13人、第6期(20~21年)  
が14人、第7期(21~22年)  
が13人の合計で、  
80人ほどである。  
方や卒業生は76名で、  
これまで卒業する年から2020年まで  
の1年半を走り、次世代の  
リーダーにならための、  
キルト・マニフェストを切り  
に、相棒の現状認識・自主

<p>スキルトレーニングでは、</p> <p>ビジネスマナー、ヨーロピアン</p> <p>セレクターショット、マネジ</p> <p>メント、目標管理、チーム</p> <p>ビルディングなど、また、</p> <p>スピーチ、図書館活用法、</p> <p>スキルの取得などを学ぶ。</p> <p>自選課題研究会「タル</p> <p>ブ」にて地域課題を分析</p> <p>し、問題解決の方針の策定から、仮説検証な</p> <p>どを行って、報告書を作成し、</p> <p>最終的に成美委員会ア</p> <p>レゼンを行なう。</p>	<p>受講料は10万円。応募は2月1日まで。</p> <p>は人材開発、応募者登録</p> <p>書を回観協議会事務局の</p> <p>柏原商工会議所(045-50</p> <p>162)、市内本町1-1-1</p> <p>16号、電話22-31160。</p> <p>アフタースタッフのための</p> <p>市企画政策課(045-50</p> <p>1-0050)、市内本町1-1-1</p> <p>16号、電話21-27000。</p> <p>フレックス24-7(7700)へ</p> <p>事前申込を6月中旬に確</p> <p>実施するといふ。</p>
---	---



発行所 柏崎日報社  
販売部 柏洋  
〒945-0066  
柏崎市西本町1丁目6-1  
TEL 22-3121 FAX 22-7111





2024(令和6)年5月16日(木) 柏崎日報

海岸清掃に  
過去最多280人



晴天の中、シーコース雷音裏の砂浜で行われた

海岸清掃

0人が参加し、過去最多と  
なった。

柏崎マリーンスポーツ連絡  
協会主催

協議会と柏崎観光協会の共  
催で11日、春假例の海岸清  
掃が市内複数箇所で行われ  
る書類裏の砂浜で行われ  
た。先月は総括(2回目)

多くのボランティア事業  
所から家族連れなど約200

人が作業を開始。海岸に

かわ始めたサッカー

の会場となる川上も、  
チームの選手たちは熱心に  
砂をまいてながら作業を  
続いた。

海岸清掃長の二木賀・柏  
崎マリーンスポーツ連絡協議  
会幹事長は、「市制50周年か  
ら始まったこの催しが、さ  
れいな砂浜を守つてほしい  
う」とあいさつ。参加者が  
いた。この砂浜は、来週

打ち寄せで「ツン」なるを打つ  
ため、汚染した。  
二木賀幹事長は、「市は次第に気温が上  
昇して、水の補給をしまだ  
とる状況の姿が見られた。  
参加した団体のみのじ  
めの願いが、アーネル  
した。この砂浜は、来週

の会場となる川上もあり、  
チームの選手たちは熱心に  
砂をまいてながら作業を  
続いた。



## 水球のまちで武者修行

インドネシアから4人

### ブルボンKZと研さん

水球の競技力向上につなげようと、インドネシアから若手の男子選手が来柏し、ブルボンウォー

ボンKZと一緒に練習を重ねている。自國の代表入りを目指すなどそれ強い思いを抱きながら、約2カ月にわたり、水球のまちで武者修行する。

訪れているのは、インドネシアの州都・バンدونを拠点とする「西ジャワ州水球クラブ」に所属する4選手。市とインドネシアの水球交流は、2016年にジャカルタ州の男子代表チームが合宿で訪問したのを機に始まった。

その後、19年にはアルボンKZ女子と新潟県大男女チームがバンドンに招かれ、現地チームと合宿を積み、ブルボンKZと一緒に練習する「西ジャワ州水球クラブ」の選手=21日、柏崎アカアパーク

ターボロクラブ柏崎（ブルボンKZ）と一緒に練習を重ねている。自國の代表入りを目指すなどそれ強い思いを抱きながら、約2カ月にわたり、水球のまちで武者修行する。訪れているのは、インドネシアの州都・バンدونを拠点とする「西ジャワ州水球クラブ」に所属する4選手。市とインドネシアの水球交流は、2016年にジャカルタ州の男子代表チームが合宿で訪問したのを機に始まった。

その後、19年にはアルボンKZ女子と新潟県大男女チームがバンドンに招かれ、現地チームと合宿を積み、ブルボンKZと一緒に練習する「西ジャワ州水球クラブ」の選手=21日、柏崎アカアパーク

むなご交流がある。今回その縁から、男子選手4人を水球留学で受け入れ、ブルボンKZの練習に参加することになった。

4人は今月10日に来日。朝は座大男子、夜はブルボンKZ社会人男子チームの練習に交さり、技術を磨く。21日夜に柏崎アクアパークであった練習では泳力やフットワークを鍛えるトレーニングを繰り返したり、ブルボンKZの選手とバス練習をしたりした。

ムハマド・ゼアキ・ジュリアンさん（19）は大学生。彼は「ブルボンKZは目標であり、（練習に参加できて）夢が実現した気持ちだ」と笑みを見せた。またリキ・ハルマソンさん（22）は警察官。彼は「ブルボンKZは優れた選手がそろっている。

多くのことを学びたい」と意気込んだ。

ブルボンKZ強化部長の佐々木洋輔さん（35）は新潟県専任講師。少しずつ選手とコミュニケーションを取って仲良くなっている。技術を盛み、自分たちのものにしてほしい」と期待した。4人は7月上旬まで滞在する。

A-I新交通あいくる

## L I N E 予約 産大生お手伝い

えきまえサロン

運行開始から間もなく半年になる市A-I新交通「あいくる」のLINE予約を増やそうと、新潟産大の学生が、くらしのサポートセンターえきまえ（駅前2）で、お茶の間サロンの利用者18人に登録や予約方法をマンツーマンで手伝った。

あいくるの予約は電話、

LINE、スマホアプリの

三つ。担当の市企画政策課

によると、電話予約（平日午前8時～午後4時）が全

体の7割を占め、送迎内容

を電話オペレーターがA

Iに代理入力している。あ

いくるの1日当たりの平

均利用者は約100人。今

後、利用者が増えると、予

約の電話がつながらなく

なる恐れもあるとし、24時

間対応のLINEとスマ

ホアプリの利用を勧めてい

る。

サロンを訪れた学生はま

ちかど研究室（権田ゼミ）

の3、4年生13人。昨年11

月に同所でスマホ教室を

実施しており、14日は2回

目となつた。初めに市担当

者がLINE登録や予約

のメリットを説明。この中

で市内13地区の乗降ポイ

ント（金300円1カ所）の中

から自宅近くやかかりつけ

医、買い物先などを選んで使

う場所を最大20カ所登録

できるなどを紹介。引き続

き、ゼミ生が利用者のあい

くるのLINE登録を手伝



あいくるのL I N E 登録を手伝う産大生＝くらしのサポートセンターえきまえ